

## 特別区長会調査研究機構 調査研究報告会を開催しました

特別区長会調査研究機構では、特別区や地方行政に関わる課題を研究機関や地方自治体と連携して調査研究を行っています。

調査研究活動の一環として、令和7年7月8日（火）に第5回調査研究報告会を開催しました。令和6年度に調査研究に取り組んだ全5テーマの各研究プロジェクトメンバーが報告しました。延べ256人が聴講し、活発な質疑も行われました。なお、当日の様子は、当機構のYouTubeチャンネルでアーカイブ配信します。

報告順	テーマ名（提案区）
①	生活保護受給者の日常生活上の支援の現状と今後の課題（大田区提案）
②	生成AIを活用した特別区におけるDXの推進（葛飾区提案）
③	区民等の理解と信頼を深めるための情報発信のあり方（港区提案）
④	特別区における老朽マンション対策の推進（大田区提案）
⑤	帰宅困難者対策における初動対応体制の確立に向けた取組み（港区提案）



報告会の様子



機構YouTube  
チャンネル  
QRコード

（特別区長会調査研究機構事務局）

## 全国連携巡回展示「10周年活動 紹介パネル展」を開催しました

平成26（2014）年9月に開始した特別区全国連携プロジェクト（以下、プロジェクトという。）は、令和6（2024）年に10年の節目を迎え、プロジェクト10年を振り返るコメントや連携事業例等の展示を令和6年度に実施しました。その際に作成した展示用のパネルを活用し、令和7年5月12日（月）～6月20日（金）にかけて、左記のとおり巡回展示を実施しました。東京区政会館から場所を移し、展示を実施したことで、プロジェクトの一層の周知や包括連携協定をより強固にする展示となりました。

### ◆展示内容

23区と各地域の交流実績をパネルで紹介  
包括連携協定締結企業のコメントを紹介

### ◆会場

ECOM駿河台 2階  
（千代田区神田駿河台3-11-1）

※三井住友海上火災保険会社の関連施設で、環境や自然に関する様々な情報を発信し、地域の交流拠点となることを目指した施設。特別区長会と三井住友海上火災保険会社は、幅広い分野で特別区全国連携プロジェクトの一層の推進にも取り組むため、令和元年9月11日に包括連携協定を締結しています。

（特別区長会事務局・特別区協議会事業部）



## 公益財団法人特別区協議会 紹介展示を開催します

東京区政会館1階エントランスホールにおいて、公益財団法人特別区協議会紹介展示「特別区自治情報・交流センター開設20周年を迎えて」を開催します。

特別区自治情報・交流センター（以下、センターという。）は、特別区（東京23区）の行政資料や地方自治に関する資料を収集・提供する専門図書館として設立され、特別区が発行する計画書・報告書や、歴史的資料等を幅広く取り揃えています。

本展示では、開設から20年目を迎えたセンターの歩みを振り返り、これまでに収集・提供してきた資料や、センターを運営する公益財団法人特別区協議会の事業についても幅広く紹介します。本展示が、特別区の自治の未来について考え、主体的に地域に関わるきっかけとなれば幸いです。

### 【公益財団法人特別区協議会紹介展示】

#### ●展示期間

令和7年9月2日（火）～10月30日（木）  
（日曜日・祝日を除く）

#### ●展示時間

月曜日～金曜日 9時から20時30分まで  
土曜日 9時から17時まで

※展示期間が変更になる場合があります。（公財）特別区協議会ホームページ等でご確認の上、ご来館いただくようお願いいたします。

（公益財団法人特別区協議会事業部）  
特別区自治情報・交流センターの様子

